

五條市庁舎



外観

施設の概要

①国、県、市の三施設が一体となった新庁舎
多様な機能が一体となった新庁舎はそれぞれが独立しながらも、連携、協働、交流をすることで、新しい文化やにぎわいを創出する空間を実現

②市民を迎え入れる五條市のシンボル庁舎
外壁はガラスを主体とし透明性の高い設えとすることで内外の活動が互いにわかりやすく、積極的に人を呼び込み、市民活動を誘発するデザインとした。

③気候・風土を生かした五條らしさあふれる庁舎
五條市のまちなみである軒や庇の重なりを継承し、水平線を強調した伸びやかな構成とした。「和」の要素を現代的な形にアレンジし、積極的に取り入れた。また、暖かさを感じさせる木の視感、質感を重視し、庁舎内の壁や天井、手すりに積極的に木を取り入れたデザインとした。

五條市庁舎 1階 市民が集う五條モール

五條モール吹抜けは緩やかな曲線の木ルーバーとし、五條の山々を表現。デザインを最大限活かす照明計画として緩やかな曲線を優しく照らす間接照明を採用。

天井デザイン形状に沿った陰影が表れ、立体感のある活動的な空間を実現。色温度は 3000K を採用し、温かみのある空間を実現。

五條モールの天井は構造梁で八角形を表現。八角形は五條市にある八角円堂をモチーフとし、その一部を光膜天井で表現。

構造梁せいを活かし、照明器具と光膜天井間に十分な間隔を設け、灯りムラのない均一な光膜天井を実現。

光膜照明の面全体が光ることで、空間全体が優しい灯りで照らされ、空間の明るさ感を演出。



市民が集う五條モール吹抜け

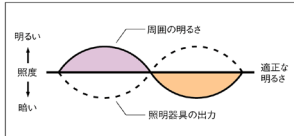


市民が集う五條モール

執務室照明計画・照明制御システムについて

- ・視認性と省エネに配慮した照明計画と照明制御
ダウンライトで受付カウンター上部を照らし、書類の閲覧、記入などに適した照度を確保。あかりセンサーで外の光を検知して、適切な明るさに自動調光。省エネを図る。
- ・利便性と省エネに配慮した照明制御
センサーと照明器具の組み合わせで簡単に導入。設定はリモコンで可能。周囲のあかりを検知して照明の光量をコントロール。自動調光で明るさを抑えた明るさで省エネを実現。

■ 適正照度維持の概念図
最適な明るさを設定することにより、周囲の明るさ変化に対しても、常に適正照度を維持できます。

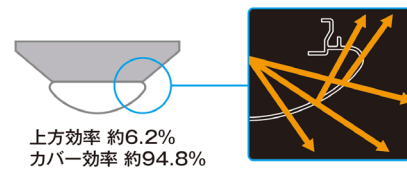


待合・執務室の光環境について

- ・適切な光環境と室環境
照明計画の変化（照明器具の配置計画、色温度計画）と内装仕上げを変えることで空間の目的を果たしつつ、一体感のある空間を実現。待合エリアは木製ルーバー内に、幅 70 mm のベースライトを配置。執務エリアには同じく幅 70 mm のベースライトを連結配置。連結部も光が途切れず美しく点灯する。
- ・省エネ性、意匠性に配慮した高効率の LED バー
LED バーは丸み形状で全体が美しく均一に発光。光を効率的に広げ、空間全体を明るく照らす器具を採用。LED バーの明るさに合わせた点灯方式と、光束帯ごとの LED モジュール設計により温度上昇を抑制。高い光束維持率を確保。
- ・施工性：LED バーの交換、取付がカンタン
トーションパネの採用で安全性・施工性・省エネ性を実現。



- 取り付け・取り外しが容易
- 独自のバネ構造で急な挟み込みを防止
- LEDバー取り外しに工具不要
- バネ受け金具で器具内配線の落下を防止



室用途、空間に合わせた照明器具色温度計画

- ・五條モールや市民ラウンジは市民に憩いの場、安心感を与える空間を演出する為、温かみのある色温度（3000K）とした。
- ・執務室、会議室等の諸室は視認性と活動的な空間を演出する為、明るく活気のある色温度（5000K）とした。
- ・廊下、待合等の諸室は執務室空間と憩いの場の空間相互をつなぐ役割を演出する為、中間白の色温度（4000K）とした。

1階



2階



3階



- 5000K ・執務空間などには5000Kの昼白色を採用。活気のある空間に。
- 4000K ・白色を採用した廊下、待合室などは、高級感のある空間に。
- 3000K ・エントランスホールなどは温かみのある電球色を採用。落ち着いた雰囲気です市民を迎え入れることができる。
・コミュニティルーム、相談室などはリラックスできるように電球色を採用。